

山梨県入札監視委員会 審議概要

| | | |
|----------------------|----------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------|
| 開催日及び場所 | 令和元年 5 月 28 日 防災新館 4F 409 会議室 | |
| 委員 | 舩谷 敬一 (山梨大学教授) 石垣 千秋 (山梨県立大学准教授) 片田 興 (山梨学院大学教授) 田邊 佳子 (一級建築士) 長倉 智弘 (弁護士) | |
| 審議対象期間 | 平成 31 年 1 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日 | |
| 総契約件数 | 309 件 | (備考) 審議件数 ・一般競争入札 5 件 ・通常指名競争入札 1 件 ・随意契約 1 件 |
| 一般競争 | 276 件 | |
| (総合評価) | 191 件 | |
| 通常指名競争 | 29 件 | |
| 随意契約 | 4 件 | |
| 指名停止状況 | 不正又は不誠実な行為 競売入札妨害又は談合 | 2 件 2 社 1 件 1 社 |
| 談合情報処理状況 | 工事関係 0 件 | |
| 委員からの意見・質問、それに対する回答等 | 意見・質問 | 回答 |
| | 別紙のとおり | 別紙のとおり |
| 委員会による意見の具申又は勧告の内容 | 審議した 7 件については、適正に処理されている。 | |

別紙

《抽出事案の審議》

1[一般競争入札（総合評価落札方式）（事後審査型）]

〔**峡南農務事-18-0077 富士川西部地区 富士川大橋その4耐震補強工事(明許)**〕

〈工事概要〉

落橋防止システム 一式(水平力分担構造 8基)

〈予定価格〉

35,272,800 円(消費税含む)

〈入札参加資格〉

- | | |
|-------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ・本店所在地 | 管内 |
| ・競争入札参加資格 | 土木工事業 B |
| ・企業の施工実績 | 10百万円以上の土木一式工事。ただし、元請として請負い平成15年4月1日以降に完成引き渡し済みの工事。なお、共同企業体の構成員としての実績は、出資比率が20%以上の場合のものとし、企業体の施工実績を各企業の施工実績として扱う。 |
| ・配置予定技術者の資格 | 不要 |
| ・ISO認証義務 | 不要 |

〈質疑応答〉

Q) 工事そのものは平成28年度からということだが、たくさんある橋脚の現状はどうなっているのか。

A) 橋台が2つ、橋脚が6本ある。釜無川側4本、笛吹川側2本。P4とP5橋脚の補強工事を実施中である。P1の落橋防止工事が今回の工事となっている。その他はA1の落橋防止工事を行っている。

Q) 本件は繰越明許として行っている工事だが、履行期間の始期である3月29日は金曜日である。入札監視の関係とは外して話すが、繰越明許がたくさんある中で、予算という観点からみると、県民は新年度なのに旧年度の案件が出てきてどうということなのかと思ってしまう。この点をどのように考えるか。

A) まず、今回繰越になってしまったというのは、もともと通常の発注を目標として11月に公告したところ、たまたま不調になってしまった。その後、再度発注しようとしたが、年度内工期がとれないことから、繰越の手続きをとり、議会の承認を待って発注したため、年度末になってしまった。

今回の案件は、河川内で6月からは工事ができないため、このタイミングで発注をして、少しでも増水前に工事を終わらせる必要があるといった理由がある。

Q) 参加業者が1者であったが、応札者が1者となった理由はなにか。また、現状他の工事の落札業者はこの落札業者とは関係があるのか。

A) 年度末で他にも繰越工事があったことや、耐震補強の工事のため経験のない業者が手を上げなかったこともあり、結果的に応札者が1者だったと考えられる。

富士川大橋については本件を含めて5つの工事があるが、他の4件は別の業者が落札している。

2[一般競争入札（総合評価落札方式）（事後審査型）]

〔**峡南林環事-18-0169 最勝寺治山工事(明許)**〕

〈工事概要〉

谷止工(コンクリート) 2基

No.1 谷止工

L=20.5m、H=7.5m、V=314.3m³

No.2 谷止工

L=24.5m、H=7.5m、V=315.1m³

〈予定価格〉

67,437,360円(消費税含む)

〈入札参加資格〉

- | | |
|-------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ・本店所在地 | 管内 |
| ・競争入札参加資格 | 土木工事業 A 又は B |
| ・企業の施工実績 | 2千万円以上の河川・砂防工事。ただし、元請として請負い平成15年4月1日以降に完成引き渡し済みの工事。なお、共同企業体の構成員としての実績は、出資比率が20%以上の場合のものとし、企業体の施工実績を各企業の施工実績として扱う。 |
| ・配置予定技術者の資格 | 不要 |
| ・ISO認証義務 | 不要 |

〈質疑応答〉

- Q) 先ほどの事案と同じように、参加業者と応札業者が1者となっているので、この点について説明をお願いします。
- A) あくまでも推測ではあるが、この工事は、コンクリート等の資材の運搬をケーブルクレーンで施工する工事となっている。現在ケーブルクレーンの架設が可能な業者が少なくなっていると聞いている。また、架設自体も落札業者ではなく、他の専門業者に依頼することがほとんどだと聞いている。
- さらに、ケーブルクレーンは現場で目視もできない索道を運転しなければならないため、作業員のスキルが必要ということもあるのではないかと。
- 現場の条件として、街中の工事と比べるとどうしても厳しいものがあるため、作業員の確保や安全管理等を勘案して見積った結果だと考える。
- Q) 報告書の6頁に今回の案件があるが、その下段にも依田組の落札案件があり、こちらも、応札、参加とも1者となっている。両者をあわせると1億円を超える。さらに、繰越明許で、3月29日から履行することとなっている。こういうデータが出ると、当初予算はなんだとか、補正予算はどうなっているのか、ということになるので、なにかしら説明が必要ではないかと思う。
- A) 今回、3月29日からとなっているのは、先ほどの案件とも似ているが、治山工事については、昨年度は甚大な自然災害が多く、防災・減災力の強化ということで、国も非常に力をいれており、予算措置がなされた。急峻な地形の多い本県も、防災・減災に力を入れた中で補正予算を組み、議会の承認を得て発注している。
- Q) 個々の事務所というよりは、全体に対して何うが、今回、工事が3月29日からという例が多いが、これは一般的に予算の組み方や国からの予算措置ということで避けられなかったのか。
- A) 国からの補正予算と県議会の時期が決まっている関係で、全体的に避けることが難しかった。先ほどの説明のとおり、国も防災・減災に力を入れており、県もこれに応じて注力しているため、避けられなかったと考えている。

3〔一般競争入札(総合評価落札方式)(簡易型)〕

〔営繕課-18-0192 峡南地域単位制・総合制高校(仮称)建設機械設備工事(継続)〕

〈工事概要〉

高校校舎本館(鉄筋コンクリート造一部鉄骨鉄筋コンクリート造、4階建て、延べ面積 9,850.51 m²)、実習棟(鉄骨造、平家建て、延べ面積 2,870.29 m²)の建設に伴う機械設備工事
冷暖房、換気、自動制御、給水、給湯、排水通気、衛生器具、ガス、消火の各設備

〈予定価格〉

394,416,000 円(消費税含む)

〈入札参加資格〉

- ・本店所在地 代表構成員及び構成員: 県内
- ・競争入札参加資格 (代表構成員) 管工事業 A(要特定)、(構成員1) 管工事業 A(要特定)、
(構成員2) 管工事業 A
- ・企業の施工実績 (代表構成員) 1億円以上の建築物の管工事。ただし、元請として請負い平成15年4月1日以降に完成引き渡し済みの工事。なお、共同企業体の構成員としての実績は、出資比率が20%以上の場合のものとし、企業体の施工実績を各企業の施工実績として扱う。
- ・配置予定技術者の資格 (代表構成員・構成員1) 監理技術者資格者証及び監理技術者講習修了証を保有する一級管工事施工管理技士又は同等以上の資格を有する者
- ・ISO 認証義務 (代表構成員) 必要

〈質疑応答〉

Q) 全体的なことだが、校舎棟はもう建設が進んでいるのか。

A) 建築工事は、設備に先だって入札をした。12月議会案件として承認を得た上で、この工事とは別の電気設備工事とともに工事を進めている。

Q) JVで受注することとなっているが、応札可能業者数はどのように算定するのか。

A) 3JVということで、代表構成員は特定建設業許可を取得していること、ISOを取得していることが参加資格の要件となる。これに該当する事業者は、Aランクの業者55者のうち19者が可能となる。これが代表構成員となり得る。また、3Aの内、構成員1についても「特定建設業の許可業者」であることを要件としている。Aランク55者のうち、特定建設業許可を有しているのは30者。

したがって、代表構成員及び構成員1には「特定建設業の許可業者」であることを要件としており、A・特定業者30者の半分の15者としている。

Q) 応札が1者しかなかった理由はなにかわかるか。

A) 営繕工事についても、工事需要の多さという全国的な課題、具体的には、東日本大震災の復興事業、オリンピック関連の事業等が多くあり、その影響が考えられる。

また、民間や県内市町村も多く発注されており、技術者の不足や技能労働者の不足、下請けに協力する体制に難しい点があるなどの他、手持ち工事の状況、今後の発注を見据えて選択を検討した結果などが、あくまでも推測だが理由と考えている。

Q) 1頁のところで、「(継続)」とあるから継続費だと思うが、何年度にわたって行っている工事か。予定価格と各年度はどうなっているか。

また、校舎は別の工事とのことだが、どういう形で行っているか。

A) 本体工事の工期は、平成31年1月23日から令和2年2月28日までの2カ年となっている。

予定価格については、3億6,520万円(税抜)となっている。

校舎の建築工事一式は3JVで落札があり、同様に継続事業として工事を進めているところ。

Q) この校舎が完成するのが令和2年3月くらいで、令和2年度から開校するということでしょうか。

A) 令和2年4月開校予定。

Q) 「(継続)」というのはどういう意味か。

A) 継続事業費の場合は、事務処理上、名称に「(継続)」とつけるルールになっている。

4[一般競争入札(総合評価落札方式)(事後審査型)]

[道路整備課-18-0031 主要地方道甲斐早川線道路工事(一部債務)]

〈工事概要〉

締切盛土工 V=42,320m³

L=400m H=2.2~8.6m

工事用道路工 L=200m W=5.0m

仮設道路 一式

〈予定価格〉

279,860,400 円(消費税含む)

〈入札参加資格〉

- | | |
|-------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ・本店所在地 | 県内 |
| ・競争入札参加資格 | 土木工事業 A |
| ・企業の施工実績 | 請負金額1億円以上の河川・砂防工事。ただし、元請負として請負い平成15年4月1日以降に完成引き渡し済みの工事。なお、共同企業体の構成員としての実績は、出資比率が20%以上の場合のものとし、企業体の施工実績を各企業の施工実績として扱う。 |
| ・配置予定技術者の資格 | 監理技術者資格者証及び監理技術者講習修了証を保有する一級土木施工管理技士又は同等以上の資格を有する者 |
| ・ISO 認証義務 | 必要 |

〈質疑応答〉

Q) 本件は護岸工をつくる準備のための工事か。また、工事用道路については一部ができていますか。

A) そのとおり。

工事用道路は一部完成しており、今回新たに追加分として施工する。

Q) 前回工事の受注業者はわかるか。

A) 前回受注の会社は大新工業と加藤建設のJVで施工している。

Q) 本件工事は技術的に難しい部類になるのか。

A) 工事の内容としては、河川内の工事ということでそう難しくはないが、やや難といったところ。

Q) 工事箇所が面倒なところにあると思うが、応札が2者だったということに対して、多いのか少ないのかどう思うか。

A) この現場は甲府方面から80kmくらいで、特に冬期は山間部のため県道が閉鎖になる。純粹に工事ができる期間に限られるし、資材等の搬入も遠いということで、施工条件というよりも現場までの条件が厳しい。

そのため、2者だったのではないかと推測される。

Q) 12頁、13頁によると、約3.5kmの予定ルートとなっているが、今後も継続的にトンネル工事を続けていくのか。予算としては、次年度あるいはその後という計画を立てているか。

A) 早川側のトンネルまでは、まだ県道からのアプローチを鋭意進めているところ。この先には早川の橋梁を経て、トンネルの入り口にたどり着く。年次計画的に予算の範囲内で進めていく。工事の着手もいつごろかとはいえないが、進めて行く予定。

Q) 「(一部債務)」となっているが、地方債を発行するのか。

A) この「債務」というのは、複数年度の支出を要する工事の場合、あらかじめ議会の承認を得て、次年度以降も債務を負担する工事のこと。いわゆる債務負担行為で、県の予算内で行うもの。

Q) このトンネルを掘る理由はどこにあるのか。

A) 夜叉神トンネルが現在の南アルプス林道となっているが、この行き来が非常に大変なものとなっている。早川芦安連絡道路で早川側と芦安側が結ばれることによって、両地域の連携強化、観光振興となる。この地域はエコパーク、北岳といった山岳観光のメッカとなっている。さらには、災害時の孤立解消などのため、トンネルの整備は大きな効果が発現できるものと考えている。

5[一般競争入札(総合評価落札方式)(事後審査型)]

[中北建設事-18-0418 (主)北杜八ヶ岳公園線 白樺橋補修工事(明許)]

〈工事概要〉

橋梁用防護柵工 L=257m

舗装打換え工 A=1430㎡

地覆補修工 L=257m

〈予定価格〉

82,965,600 円(消費税含む)

〈入札参加資格〉

- | | |
|-------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ・本店所在地 | 県内 |
| ・競争入札参加資格 | 土木工事業 A又はB(要特定) |
| ・企業の施工実績 | 4千万円以上の道路工事。ただし、元請として請負い平成15年4月1日以降に完成引き渡し済みの工事。なお、共同企業体の構成員としての実績は、出資比率が20%以上の場合のものとし、企業体の施工実績を各企業の施工実績として扱う。 |
| ・配置予定技術者の資格 | 監理技術者資格者証及び監理技術者講習修了証を保有する一級土木施工管理技士又は同等以上の資格を有する者 |
| ・ISO認証義務 | 不要 |

〈質疑応答〉

Q) 評価調書は、先ほどの案件とは合計点や配点が異なるが、工事ごとに異なるものか。

A) 金額や技術的な難易度によってかわる。

Q) それは、県の中で決まっているものがあるのか。

A) 基準があり、それに基づき行っている。

Q) 県全域を本店所在地にしたので、応札可能業者数は多くなると思うが、最終的に参加業者が1者、応札が1者ということで、地元北杜市の業者が落札している。他の業者が参加しにくい理由があるのか。

A) 昨年度は、峡北支所管内で台風による被災が多く、災害復旧の発注がちょうど同じ時期になってしまった。平成30年9月30日から10月1日の台風による災害復旧工事を発注したことから、応札業者が少なかったのではないかと推察している。

Q) 評価調書を見ると、もともとの評価基準の点数からして結構高い点数を得ている。この業者はこうした道路工事や橋の補修に手慣れている業者なのか。

A) そう判断している。

Q) 白樺橋はいつ竣工になったか。

A) 平成6年の3月に完成している。

Q) 最初の補修工事ということか。

A) 平成27年度から耐震補強工事を始めており、平成30年度までの3カ年で行っている。

6〔通常指名競争入札〕

〔富東建設事-18-0411 主要地方道河口湖精進線外安全施設工事(明許)〕

〈工事概要〉

区画線工L=5,000m

案内標識修繕工(英語標記)N=47枚

〈予定価格〉

7,873,200円(消費税含む)

〈指名業者選定の基準〉

1. とび・土工・コンクリートの入札参加資格を有し、業者状態が正常で納税状態が完納であること。
2. 地理的条件
3. 技術的特性

〈質疑応答〉

Q) 3頁の絞り込み過程の中で、管内以外に甲府市で6者選んでいるが、これは距離が近かったからか。

A) 管内は4者しかなかったため、最寄りの甲府市の6者の中から一番近い業者を選んだ。

Q) 必ずしも近いところがいいのかということもあるし、点差も必ずしもないので、他に2者増やして指名して、少しでも安いところを選ぶ方が県民としてはいいのではないか。

A) 指名制度という中で、1,000万円以下の場合は原則5者ということで選んだ。

Q) 7頁の図において、円の中心はどこをとっているのか。

A) 吉田支所を中心としている。

- Q) オリンピックの自転車競技がこのあたりを通るので、英語表記に直すということか。それともたまたまか。
- A) 通常、道路の交差点などにある表示板は順次英語表記に切り替えている。しかし、こうした通りの愛称名はまだ英語表記にしていないので、全県的に英語表記に切り替えていこうという中でやっている。
- Q) 区画線の5kmというのは、具体的にどこをやるのか。
- A) 毎年ある程度順次補修している。事務所で把握している部分もあるが、業務を請け負ってもらう中で、消えている場所を直してもらっている。管内の県道や事務所で管理している国道の補修が必要な部分の中で5km分やってもらうということ。
- Q) 管内のとにかゝ5km分の区画線を整備するということか。
- A) そのとおり。

7〔随意契約〕

〔発電制御所-18-0010 大城川発電所主軸封水補修工事〕

〈工事概要〉

水車軸受取替、主軸封水部補修
 主軸封水部漏水確認
 軸振れ測定

〈予定価格〉

10,594,800 円(消費税含む)

〈質疑応答〉

- Q) 定期的な保守・点検もこの業者が行っているのか。
- A) この発電所は小水力発電所のため、予算をかけないということで、直営でやっている。どうしても手に負えない場合は業者に発注するということにしており、普段の点検は職員が行っている。
- Q) 本件はもう工事が終わり、運転をしているのか。
- A) まだ完成しておらず、違う部分の補修箇所が出てしまったので、契約を変更して現在も継続している。
- Q) 封水部の補修は終わったということですか。
- A) 封水部は終わった。
- Q) この付近、例えば身延管内には他に小水力発電所があるか。
- A) もう少し上流の早川町には、早川水系発電管理事務所といって、昭和30年くらいからの発電所が6つほどあるが、それらはもう少し大きい。小水力発電所としては、この付近には大城川発電所のみ。
- Q) 小水力発電を行うような企業は、カナマル以外にもたくさんあるか。
- A) 大きい発電所は、県外の重電会社である東芝や日立等の業者がある。今回は小さい発電所のため、平成25年に発注する際に、県内業者でできるのではないかと考え、県内業者を指定して発注した。実際に応札したのは本業者のみ。

《その他》

委員長) 本日の審議を通して、意見の具申、勧告を県に対して行うような事案はあるか。

(特に意見なし)

以上